

記者発表資料

平成23年2月13日
九州地方整備局
河川部

ヘリによる霧島山（新燃岳）上空からの現地調査の結果について

平成23年2月11日に気象台の遠望カメラで確認した山体斜面の白く変色した部分の調査を本日ヘリ調査しました。

上空より調査を行った結果、発生の原因は不明ですが、新燃岳南側斜面の一部が薄く崩れているのを確認しました。

この崩壊による堆積物が直ちに下流へ影響を及ぼす危険性は低いと判断されます。その他については、同様の現象は認められませんでした。

問 い 合 わ せ 先

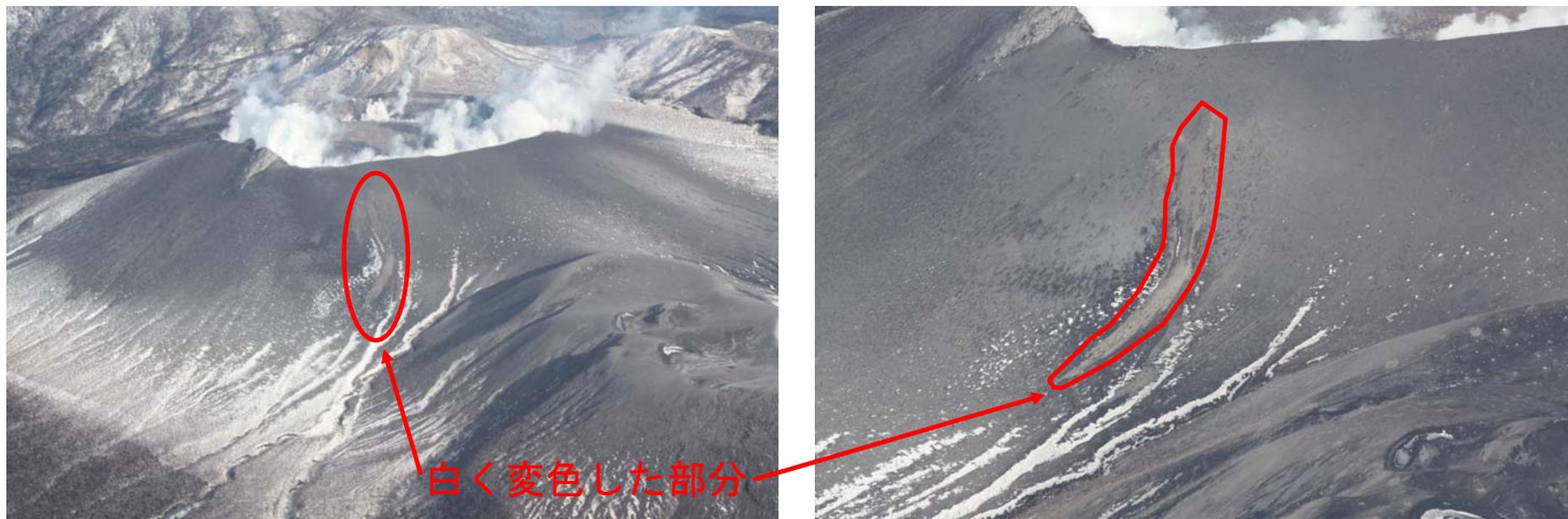
九州地方整備局 河川部 建設専門官 瀧口茂隆（内線3618）
代表 092-471-6331

ヘリによる霧島山(新燃岳)上空からの現地調査の結果

平成23年2月11日に気象台の遠望カメラで確認した山体斜面の白く変色した部分の調査を平成23年2月13日にヘリ調査しました。

上空より調査を行った結果、発生の原因は不明ですが、新燃岳南側斜面の一部が薄く崩れているのを確認しました。

この崩壊による堆積物が直ちに下流へ影響を及ぼす危険性は低いと判断されます。



撮影日:平成23年2月13日 正午ごろ

搭乗者:国土交通省職員、鹿児島県職員、宮崎県職員